



岐阜市立岩野田北小学校 学校だより

# せんだんの本



令和6年10月21日 校長 各務 至

## 百聞は一見に如かず

人から何度も話を聞くよりも、自分の目で確かめた方がよく分かるという意味です。6年生の修学旅行では、「こんなに大きな大仏をどうやって作ったんだろうね。」「この法隆寺に聖徳太子がいたんだね。」などと、子供たちが想像を巡らせているのを聞きました。5年生では、高齢者疑似体験や車いす体験で学んだことを生かして、近隣の介護施設を訪問し、入所者さんと過ごす計画を立てようとしているところです。

いずれも、学校での学びを生活や社会とつなげようとしている場面ですが、このように実感を伴った学びは、大人になっても残ります。さて、後期は全校での「さつまいもほり」があります。土にまみれて収穫するさつまいもは、いつもよりうま味が増すことでしょう。



6年生修学旅行

## 100の積み重ね

前期の日数はちょうど100日でした。終業式では「いっぺんに100を達成することは難しいが、コツコツと積み重ねることで何事も達成できる。」ことを私から話しました。2・3・6年生からは前期の成果発表があり、その一部を紹介します。

### 6年生

助け合いながらの如来ヶ岳登山や、責任感をもって務めた委員会活動、全校が楽しめることを考えたなかよし活動の話がありました。後期では、周りを思いやることを大切に、自分から行動することを述べていました。また、新企画「なかよしフェスティバル」の実現に向けて計画中であるとのことで、最上級生を感じさせる内容でした。

### 3年生

1組は金子みすゞさんの詩「私と小鳥と鈴と」を朗読しました。2組は「アチャパチャノチャ」を、3組は「あの雲のように」をリコーダーで演奏をしました。それぞれ学級の良さが溢れる発表で、全校が聴き入る素敵な時間となりました。

### 2年生

学級ごとにそれぞれの学級目標を振り返りました。「かがやきの『か』 かんがえて じゅぎょうでは、あきらめずにさいごまで考え、学び合いをたいせつにしてきました。」のように、代表の数名がセリフを少しずつ担当し、全校の前で堂々と発表でき、この半年の成長を感じることができました。



3年生音読発表

## 願いをもって

後期がスタートしました。児童会や学級の係、班のメンバー、座席など新しくなりました。後期始業式では、「自分の願いをもち、それに向かって挑戦する」と「自分や仲間の好きなことやいいところを見つける」ことを話しました。

児童会認証式では、後期児童会長が次のように願いを話してくれました。

前期に引き続き、後期もあいさつ運動を大切にしていきます。また、話を聞く姿勢や授業での言葉遣いの向上に向けて、キャンペーン活動に取り組んでいきます。そして、相手の気持ちを考えて、みんなが目標を持てるような学校にしていきたいです。

とても力強く、頼もしく感じました。オンラインでこの話を聞いている各教室からは拍手が起こり、全校の子供たちの温かさや応援していこうという気持ちが伝わってきました。

引き続き、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

